

特別展示 シドニー・スミス

2024年に国際アンデルセン賞・画家賞を受賞したカナダの絵本作家シドニー・スミスの作品を特別展示いたします。絵本原画を含む約50点の作品とスケッチブックをぜひご覧ください。板橋区立美術館は、2023年にイラストレーター向けワークショップ「夏のアトリエ」のためにスミスを招聘しました。本展のメインビジュアルは、スミスが当館滞在中に描いたものです。また、本展カタログの表紙はスミスによる描きおろしです。これらの原画もあわせてご紹介します。

シドニー・スミス Sydney Smith

1980年、カナダのノバスコシア州に生まれる。2015年に出版した絵本『おはなをあげる』でカナダ総督文学賞を受賞。その後も『うみへのまちで』（2017年）、『このまちのどこかに』（2019年）、『ぼくは川のように話す』（2020年）、『おばあちゃんのにわ』（2021年）、『ねえ、おぼえてる?』（いずれも2023年）などを出版し、いずれも高い評価を得ている。2024年、国際アンデルセン賞・画家賞を受賞。2025年夏には新作絵本『あらしの島で』を出版予定。

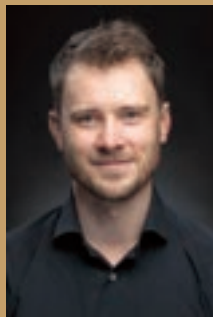
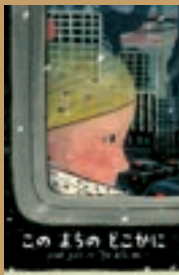


Photo by Steve Farmer



2025イタリア・ボローニャ国際絵本原画展
カタログ表紙原画



『このまちのどこかに』
(邦訳版：評論社刊)



『ぼくは川のように話す』
(邦訳版：偕成社刊)



『おばあちゃんのにわ』
(邦訳版：偕成社刊)

ボローニャ絵本さんぽ 2025

イタリア・ボローニャ国際絵本原画展と同時期に、板橋区内や周辺で関連のイベントが行われます。カフェ、書店、ギャラリーなどを会場として、これまでのボローニャ展入選者の展覧会などを予定しています。場所・内容・日程等の詳細は決まり次第、当館ホームページでご案内します。



絵本のまち板橋

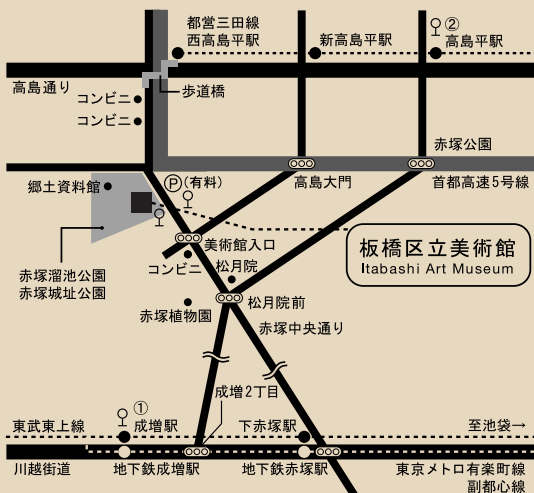
板橋区では、絵本文化の展開・発信を広く進めています。友好都市であるイタリア・ボローニャ市との交流や、印刷産業が盛んである区の特徴を活かし、板橋区立美術館や板橋区立中央図書館を中心に、板橋区ならではのブランドとして、絵本文化を発信しています。

今後の板橋区立美術館の予定

8月23日(土)～9月28日(日)
館蔵品展 狩野派の中の人

11月8日(土)～2026年1月12日(月・祝)
戦後80年 戦争と子どもたち(仮称)

2026年3月7日(土)～4月12日(日)
焼絵展(仮称)



交通案内

徒歩：都営三田線「西高島平駅」下車約14分

路線バス：1時間に1～2本程度 所要時間約10分

①東武東上線「成増駅」北口2番のりば

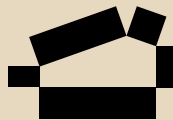
「増17 区立美術館経由 高島平操車場」行き「区立美術館」下車

＊東京メトロ有楽町線・副都心線「地下鉄成増駅」も利用可(5番出口)

②都営三田線「高島平駅」西口2番のりば

「増17 区立美術館経由 成増駅北口」行き「区立美術館」下車

タクシー：東武東上線「成増駅」北口または都営三田線「高島平駅」西口より約5分



板橋区立美術館
ITABASHI ART MUSEUM

〒175-0092 東京都板橋区赤塚 5-34-27

TEL.03-3979-3251 FAX.03-3979-3252

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/>

・ボローニャ国際絵本原画展 ITALY 2025



Illustration by Sydney Smith

開館時間 9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日 月曜日、7/22(火) ※7/21、8/11は開館
観覧料 一般900円、大学生600円、高校生以下無料 ＊65歳以上・障がい者割引あり(要証明書)

主催：板橋区立美術館、一般社団法人 日本国際児童図書評議会(JBBY)

協力：Bologna Children's Book Fair、株式会社 偕成社

Bologna Illustrators Exhibition, curated by Bologna Children's Book Fair / BolognaFiere in partnership with JBBY

板橋区立美術館

東京都板橋区赤塚 5-34-27

TEL.03-3979-3251 FAX.03-3979-3252

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/>



ITABASHI ART MUSEUM

2025.6.27(金)～8.11(月) 祝

イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 (Illustrators Exhibition) は、ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェアに伴って毎年開催される、児童書のためのイラストレーション・コンクールの入選作品を紹介する展覧会です。児童書のトレンドや今後の動向を展観することができ、新人イラストレーターたちの登竜門としても知られています。59回目となる本年は、89の国と地域から過去最多となる4,374名の応募があり、日本の6名を含む29の国と地域の77名(76組)が入選しました。本展ではその全入選作品を一堂に展示いたします。多彩な表現やテーマ、技法からなる作品をお楽しみください。また、会期中には絵本に関する講演会や連続講座、ワークショップなどのイベントを予定しています。

ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア(BCBF)は、イタリア北部のボローニャ市で行われる児童書専門の見本市として1964年に始まり、2025年に62回目を迎えました。BCBFは毎年春に4日間にわたって開催され、出版社による版權の売買のみならず、展覧会や講演会をはじめとする文化イベントが多数行われるなど、児童書の新たな企画を生み出す場として世界中から注目されています。

イタリア・ボローニャ国際絵本原画展(ボローニャ展)は、BCBFに伴って開催される児童書のためのイラストレーションの展覧会です。1967年から毎年開催されており、1976年よりコンペ形式となりました。出版・未出版を問わず、子どもの本のために制作した作品(5枚1組)があれば応募することができます。国籍の異なる5名の審査員は毎年入れ替わり、多様性を重視して審査が行われます。本展は単なる展覧会というだけでなく、イラストレーションの現在や今後の動向、また多様な表現を広く紹介するとともに、新しい才能との出会いの場でもあります。

特別展示 エンリケ・モヘイラ

2024年に「ボローニャ SM 出版賞」を受賞したブラジルのイラストレーター、エンリケ・モヘイラ(Henrique Moreira、1998年生まれ)の新作絵本をご紹介します。2022年に絵本「O primeiro dia (はじめてのひ)」(Planeta Tangerina 刊)を出版してデビューしたモヘイラは、同作品で翌年のボローニャ展入選とボローニャ・ラガッツィ賞を受賞し注目を集めました。2024年のボローニャ展入選時には、入選者のうち35歳以下を対象とした「ボローニャ SM 出版賞」に選ばれ、2025年春にスペインのSM出版より新作絵本「La danza del cielo y la tierra (空と大地のダンス)」が刊行されました。



Henrique Moreira, La danza del cielo y la tierra, Ediciones SM, 2025



1



2



3



4

講演会・トーク

◎参加無料◎定員60名◎要事前申し込み
申込方法：当館ホームページでご確認ください

オープン記念トークイベント
「2025ボローニャ展入選者にきく」
6/27(金) 14:00～15:30
講師：うめだよしの、神島海南江、
波田佳子(2025ボローニャ展入選者)

講演会「わたしの仕事」
6/29(日) 14:00～15:30
講師：ギャビー・バザン(アーティスト／フランス)
通訳あり
主催：板橋区立美術館、在日フランス大使館／アンストイチュ・フランセ日本

講演会「ぼくの絵本づくり(仮)」
7/6(日) 14:00～15:30
講師：クリス・ホートン(絵本作家、2025ボローニャ展審査員／アイルランド出身)
通訳：森泉文美(本展コーディネーター)

トークイベント「ボローニャ報告ー日本の絵本のプロモーション」
7/11(金) 14:00～15:30
講師：広松由希子(絵本評論家)
高野直子(海外出版コーディネーター、編集者)
田村彩(独立行政法人国際交流基金)
松岡希代子(板橋区立美術館館長)

講演会「新しいポルトガルの絵本」
7/12(土) 14:00～15:30
講師：木下真穂(ポルトガル語翻訳家)

トークイベント「シドニー・スミスに魅せられてー編集者と教え子が語る」
7/20(日) 14:00～15:30
講師：広松健児(偕成社編集部部長)、新海美穂、ケン・ニイムラ、藤原千晶、矢部雅子(2023夏のアトリエ参加者)、松岡希代子(板橋区立美術館館長)

トークイベント
「〈絵本のまち板橋〉が結ぶ絵本とSDGs」
8/3(日) 14:00～15:30
講師：笹岡智子(公財東京子ども図書館)、安川史章(板橋区政策企画課)、松岡希代子(板橋区立美術館館長)ほか

対談「2025ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア総復習」
8/10(日) 14:00～15:30
講師：広松由希子(絵本評論家)
松岡希代子(板橋区立美術館館長)

子どもたちにむけて

しかけ絵本をつくろう
2日間かけて、しかけのある絵本づくりにチャレンジします。
7/26(土)、27(日)の2日制 13:30～16:30
講師：岡村志満子(グラフィックデザイナー、絵本作家)
対象・定員：全日程参加できる小学1～6年生・20名
参加費：2,500円
申込方法：6/21(土)朝9時より電話で先着(03-3979-3251)

こどもアトリエ
絵本作家やイラストレーターと一緒に、身近な材料を使って工作したり絵を描いたりして楽しみましょう。
7/21(月・祝) eto(絵本作家、イラストレーター)
8/9(土) むらかみひとみ(絵本作家)
時間：10:00～12:00/14:00～16:00(各1回制)
対象：3歳から小学生のお子さんとその保護者
定員：各回12組
参加費：1組1,200円
申込方法：以下の各申込開始日の朝9時より電話(03-3979-3251)で先着
7/21(月・祝)：7/5(土)申込開始
8/9(土)：7/26(土)申込開始

1.Marco Quadri(マルコ・クワドリ/イタリア)「エ
イリアンはみどりじゃない」 2.うめだよしの(日本)
「花といっしょ」 3.Lucie Lučanská(ルツィエ・ル
チャンスカー / チェコ共和国)「テントのなかで」
4.Kyoung-mi Ahn(アン・キョンミ / 韓国)「仮面の
夜」 5.umeco(ウメコ / 日本)「そこにある」 6.小池
結衣(日本)「ここにいます」 7.Melissa Siles(メリッ
サ・シレス / ベルギー)「ベット」 8.波田佳子(日本)
「かわいーちいさなさくらんぼ」 9.神島海南江(日
本)「ゆうぐれ」 10.Ishita Jain(イシタ・ジェイン/
インド)「真夜中のバイク」 11.Rocio Katz(ロシー
オ・カッツ / アルゼンチン)「泳ぐ」 12.Ana Terral
(アナ・テラル / モルドバ共和国)「ピンクの町で」
13.木村友美(日本)「きっと世界のどこにでも起こっ
ている物語」



10



11

絵本をつくる

◎多彩な講師とともに
実践的に絵本づくりを学びます

中高生絵本講座
絵本づくりの方法やコツを学びましょう。
8/6(水) 10:00～16:00
講師：なかむらしんいちろう
(絵本作家、日本児童教育専門学校専任
講師・女子美術大学非常勤講師)
対象・定員：中学生及び高校生・12名(先着)
参加費：3,000円
申込方法：当館ホームページでご確認ください。

夏のアトリエ
「自分の〈声〉を視覚化するー言いたいことを見えるようにするために」
アイルランド出身の絵本作家、クリス・ホートン氏を招き、絵本の制作に関する専門的で実践的なワークショップを行います。
7/1(火)～5(土)の5日制 10:00～16:00
講師：クリス・ホートン
(絵本作家、2025ボローニャ展審査員)
通訳：森泉文美(本展コーディネーター)
対象：イラストレーター、またはイラストレーターをめざす方で、絵本づくりに関心のある18歳以上の方
定員：20名(書類選考あり)
参加費：25,000円(別途材料費がかかる場合があります)
往復はがきにて申し込み。記載事項等は当館ホームページでご確認ください。※締切：6/6(金)(必着)

絵本づくりを知るー大村製本 齋藤社長に聞く
8/2(土) 14:00～15:30
板橋区にある絵本に特化した製本会社の目線から、絵本づくりについてお話をいただきます。イラストレーターたちの質問や相談にもお答えいただきます。
講師：齋藤 和明(大村製本株式会社 代表取締役社長)
定員：30名(参加費無料)
対象：イラストレーター、またはイラストレーターをめざす方で、絵本づくりに関心のある18歳以上の方
申込方法：当館ホームページでご確認ください。

絵本展示会

「ニュー・スパニッシュ・ブックス」
約100冊のスペインの新しい絵本を手にとってご覧いただけます。
7/30(水) 13:30～16:30
参加費無料、申込不要、入退室自由
協力：在日スペイン大使館経済商務部



12

13